

大人のレッスンシリーズ

ギターボードを  
弾こう!

# Contents



## 1章 キーボードを知ろう

① 様々な種類のキーボード	4
② キーボードが使われる場面	6
③ あると便利な小物や機材	8
④ キーボードの音を外に出す	10

## 2章 基礎編

① キーボードを弾くときの姿勢	12
② 音の高さと鍵盤の位置	14
③ 指番号	15
④ 音符と休符の長さ	16
⑤ 拍子と拍子記号	17
⑥ シャッフル・リズム	18
⑦ 変化記号	19
⑧ 曲のテンポ	20
⑨ 音の強弱	20
⑩ 楽譜の読み方	21



### 3章 音符を弾いてみよう

① ドレミファソを弾く	22
② 1オクターブの音階を弾く	26
③ 両手を使って色々なリズムで弾く	29
④ スムーズな上行下行が弾けるように	31
⑤ 3連符のリズムで弾く	32

### 4章 曲の演奏に挑戦

① 右手でメロディを弾く	34
② 左手で伴奏を弾く	42
③ コード・ネームって何?	50
④ 両手で弾く「さくらさくら」	52

### 5章 キーボード・スコア

川の流れのように	61
悲しい酒	66
見上げてごらん夜の星を	70
上を向いて歩こう	74
コード一覧表	78

# キーボードを知ろう

実際に弾く前に、キーボードの種類やあると便利な周辺機器、音を出すまでのセッティングを確認しておきましょう。

## 1 様々な種類のキーボード

「キーボード」(Keyboard)は「鍵盤」を意味する言葉で、ピアノなど鍵盤楽器の総称です。代表的なキーボードの種類を見ていきましょう。

### ■ ポータブル・キーボード

標準的な電子キーボード。スピーカー内蔵ですぐに音を出すことができます。鍵盤数や機能の違いにより、多くのラインナップがあります。



### ■ 電子ピアノ

アコースティック・ピアノ(生ピアノ)の鍵盤タッチや音色を模した電子楽器。大型のものから、1人で持ち運びできる軽量なものまで、様々なモデルがあります。



## ■ 電子オルガン

2段の鍵盤とペダル鍵盤などを持ち、1台で様々な音色やリズムを演奏することができる電子楽器。



## ■ シンセサイザー

音を電気的に造り出す（シンセサイズする）電子楽器の総称。音源方式の違いなどにより、様々な種類が存在します。



### コラム

#### 他にもある、様々なキーボード

ここで紹介した以外にも様々なキーボードがあります。

##### ● エレクトリック・ピアノ

ピアノのような打弦構造を持ち、マイク（ピックアップ）やアンプ、スピーカーなどを搭載した“電気ピアノ”。「ローズ・ピアノ」や「ウーリッツァー」などが有名です。

##### ● エレクトリック・オルガン

ハモンド・オルガンを始めとする“電気オルガン”。当初はパイプオルガンの代用品として教会で使う目的で作られました。独特の音色は多くの人に愛され、ポピュラー・ミュージックの世界でも広く使われています。

##### ● ミュージック・ワークステーション

複数トラックの演奏を記録したり、アレンジ、録音まで1台で完成させることができる万能シンセサイザー（＝オール・イン・ワン・シンセサイザー）。

## 2 キーボードが使われる場面

実際にキーボードが使われる様々な状況を紹介します。あなたがやってみたいのはどれでしょう？

### ■ 自宅での練習、キーボード入門

何はともあれ「鍵盤に触れてみたい」「すぐに音を出してみたい」。そんなときはスピーカー内蔵の「ポータブル・キーボード」が一番手軽でしょう。



### ■ ピアノの練習に使いたい

「電子ピアノ」はグランド・ピアノの音色を録音（サンプリング）したリアルな音色が特徴。鍵盤タッチも実際のピアノに近付けられたものが多く、ピアノの練習には最適です。ヘッドフォンを使えば、夜間でも周囲を気にせず練習することができます。



## ■ バンドやステージで演奏する

様々な音色を扱う必要のあるバンドやステージでは、「シンセサイザー」が大活躍。エレキ・ギター感覚で、背負って持ち運べる軽量なシンセサイザーもあります。



## ■ 作曲やアレンジをしたい

「電子オルガン」を使えば、1人で重厚なアンサンブルを演奏することができます。

また、複数パートのアレンジや演奏を記録したいなら、「ミュージック・ワークステーション」の出番。「打ち込み」音楽を作りたいならこれです。パソコン上に同様の機能を持たせるソフトや機材もあります。



### 3 あると便利な小物や機材

キーボードを演奏するときにあると便利な小物、機材を紹介します。必要に応じて揃えていきましょう。

#### ■ メトロノーム



▲正確なリズムを刻むメトロノームは練習には欠かせません。メトロノームの機能を内蔵したキーボードも多いです。

#### ■ ヘッドフォン



▲夜間など、音を出して練習できないときはヘッドフォンを使いましょう。正確に音を聴き取りたいときにも使います。

#### ■ キーボード・スタンド



▲キーボードを乗せる台です。テーブル型や写真のX型スタンドなど、色々な形状、タイプがあります。

#### ■ 椅子



▲座って演奏するときに使います。座面の高さを変えられるものもあります。

## ■ サスティーン・ペダル／フット・スイッチ



▲ピアノのダンパー・ペダルのように、弾いた音を伸ばしてくれるペダルです。メーカーごとに極性があるので要確認。

## ■ エクスプレッション・ペダル



▲シンセサイザーのボリュームなどをコントロールする可変ペダル(=コントロール・ペダル)。メーカーごとに対応ペダルがあるので要確認。

## ■ シールド・ケーブル



▲シンセサイザーの音をキーボード・アンプやミキサーから出す際に必要なケーブルです。

## ■ モニター・スピーカー／キーボード・アンプ



▲シンセサイザーの音を外部に鳴らしたいときに使います。自宅などでは小型のモニター・スピーカーが便利です。

## ■ 譜面台



▲楽譜を見ながら演奏するときに使います。電子ピアノには、楽譜を置ける台が備わっている機種もあります。

## ■ 楽器ケース



▲キーボードを運搬するときに必要です。リュックサックのように背負えるケースもあります。

## 4 キーボードの音を外に出す

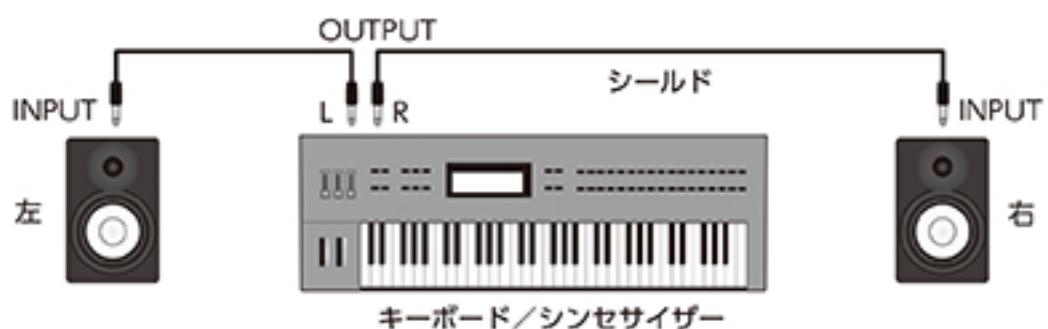
スピーカーを持たないシンセサイザーの音を外に出す際は、モニター・スピーカーやキーボード・アンプに繋ぐ必要があります。接続の設定は、練習スタジオに自分のキーボードを持ち込む際にも必要な知識です。

### 1つのモニター・スピーカーから音を出す（モノラル）



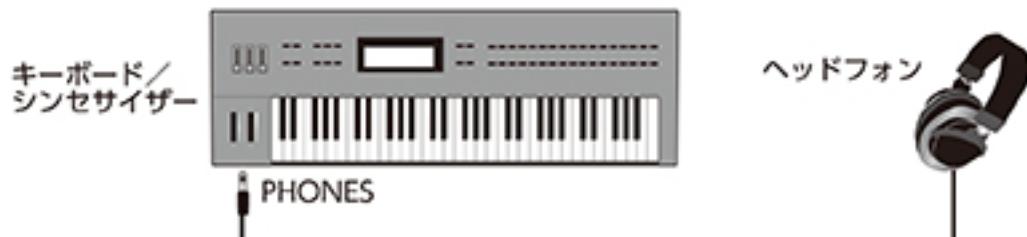
▲キーボードのモノラル・アウトプット (MONO、L/MONOなどと表記) とモニター・スピーカーをシールドで繋ぎます。

### 2つのモニター・スピーカーから音を出す（ステレオ）



▲キーボードのアウトプットのL側を左側のスピーカーに、R側を右側のスピーカーに、それぞれシールドで繋ぎます。

### ヘッドフォンから音を出す（モノラル）



▲キーボードの [PHONES、HEADPHONES] 端子に、ヘッドフォンを接続します。